

ふみつき July 7 月

おおもり

医療センター大森病院
大田区大森西 6-11-1
☎03-3762-4151(代)

「厚労省委託 チーム医療普及推進事業 ワークショップを終えて」

大森病院医療安全管理部部長

渡邊 正志



平成24年度厚生労働省「チーム医療普及推進事業」に採択され、平成25年1月20日(火)大森病院主催、行いから3月17日までの期間に、東邦大学3医療センター医療安全管理部門が協力して、4回のワークショップを開催いたしました。ワークショップ

「医療安全チームで病院を安全に」というテーマで、「チーム医療」が医療を安全にする」というテーマで3回(佐倉・大森・大橋病院で各1回)を開催し、「医療安全チームで病院を安全に」というテーマで1回(大森病院主催)を行いました。いずれの会も大変好評で、のべ280名が定員に対し参加希望者が殺到し、のべ377名の参加となりました。

(The Institute Manager) 研修「いわゆる「茶番劇型研修」が出来上がりました。

現場での「チーム医療」の実践には、まずチームスロップ間のコミュニケーションを確保し、むしろ盛り立てる風土づくりが必要であります。また、「チーム医療」に参加するメンバーは、職種のプロフェッショナルであることが求められており、「チーム医療」を遂行するなかで、プロフェッショナルを養成する教育環境が整っていることも望まれております。

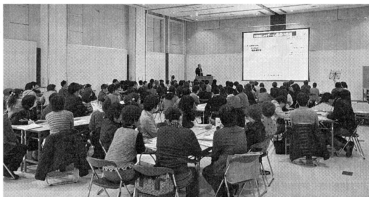
Team STEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety)

医療のバフォーマンスと患者安全を高めるためにチームで取り組む戦略と方法は、米国において国防総省や航空業界などの事故対策を元

として、和気あいあいをそのまじ場に伝え、これが「茶番劇型研修」であります。

近年、本邦でも大変注目されており、本邦において、早くからSTEPPSに注目された看護学部の中原の子雅教授が大森病院医療安全管理部に紹介、平成22年7月からは東邦大学3医療センターの医療安全研修会において毎年講演、指導を

「最も大切なことは東邦大学が「チーム医療」実践の最先端大として認めてもらえるようになること」で、今後も3医療センター医療安全管理部門が力を結集し、各病院医療安全型研修を普及させることが命題、この目的に向かって「茶番劇型研修」を普及させた所存であります。



その結果、東邦大学 R M